

岐 阜

## 「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」救護活動

岐阜市では4月23日（日）に、第7回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソンが開催され、公益社団法人岐阜県柔道整復師会では、細野勝己救護委員長を中心に11名の会員が救護ケアに当たりました。

当日は、マラソンにふさわしい快晴のなか、岐阜メモリアルセンターからJR岐阜駅を折り返すかたちで13,000人のランナーが元気に駆け抜けました。

ハーフマラソンは午前9時にスタートし、会場にしつらえたケアコーナーで待機しておりますと、スタートして2時間過ぎたあたりから走り終えたランナーが少しずつ集まり始め、瞬く間にケアを待つ長蛇の列ができあがりました。ケアの傾向を見ますと、シーズンの始まりの春先の大会ということもあり、太ももやふくらはぎ、膝の不調を訴えるランナーが多くありました。また、最近のランニングブームの影響か、走り始めて2カ月3カ月といった、いきなりの初心者的人也多く、救護ケアを担当していて準備が不足しているのではと、考えさせられるのでした。最終午後4時まで救護に当たり、248名のケアを担当いたしました。

